

[調査会 NEWS 754](21.2.27)

■本の紹介

特定失踪者木村かほるさん（昭和 35 年秋田で失踪）のお姉さんである天内みどりさんがこのたび『芙蓉の花（増補版）』を出版されました（近代文芸社・1，300円＋税）。『芙蓉の花』は平成12（2000）年に天内さん一家の引き揚げの記録として出版されましたが、今回の増補版はかほるさん関わる動きを足したものです。書店、amazon 等でお買い求めください。

なお、特定失踪者のご家族が出された本としては他に生島孝子さんのお姉さんである生島馨子さんの著書『うらさんの祈りはダイヤモンドになって』（文芸社・1，400円＋税）があります。

■新ポスター製作中

新しい特定失踪者ポスター（Ver. 11）を作成中です。来週中に刷り上がります。これまでと同じように1枚100円（送料調査会負担）で販売します。ぜひご利用ください。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主催）

●名古屋市公会堂（JR中央線、地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：若宮会講塾（0561-74-1784 事前申し込み制です）

★3月6日（金）18:30 「ブルーリボンの祈り大決起集会」（浜松ブルーリボンの会）

●浜松市福祉交流センター（浜松駅下車 053-452-3131）

MMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 753](21.2.25)

※以下、本日（2月25日の記者会見で発表したものです）

■しおかぜの近況報告

1月22日朝、夜からの北朝鮮による妨害電波発射が確認され、総務省は即日 ITU（国際電気通信連語）へ通報した。このところ続いている事前に放送を探っているような妨害音は前日の21日から確認していた。

対策として、2月6日夜、7日朝より周波数変更を実施したが、2月11日朝、12日夜より妨害電波確認報告が相次ぎ、総務省も13日付けで ITU へ通報を行った。今回の妨害電波確認は周波数変更後5日目であった。さらに2月21日より朝の放送を周波数変更したが、24日にリスナーおよび総務省は妨害電波発射を確認。周波数変更後3日目である。総務省は即日 ITU へ通報予定。

10月末以降、伝搬状態や各地のモニターを考慮して妨害電波発射が確認されても、ある程度の間周波数を固定して放送を続ける方針を主として行って来た。ご存知の通り短波の特性により冬期、電離層の活動が弱まる時期では伝搬に於ける電波の反射に多大な影響があり、日によって大きな差が現れる。今後は季節の変動により伝搬状況は改善される方向へ変化することは間違いなく、放送の伝搬状態と北朝鮮による妨害電波発射状況、北朝鮮近隣地域での妨害電波スキップの状態も考慮した上対策を行うものである。

1月13日夜：周波数変更

1月14日朝：周波数変更

1月22日朝：妨害電波発射確認 総務省は即日 ITU 通報

1月22日夜：妨害電波発射確認

1月23日 夜の妨害に対して総務省は ITU 通報

2月 6日夜：周波数変

2月 7日朝：周波数変

2月11日夜：妨害電波発射確認

2月12日朝：妨害電波発射確認

2月13日 朝、夜の妨害に対して総務省はITU 通報

<日本語ニュース「日本海に架ける橋」に新コーナー>

家族会事務局長増元照明氏による新コーナー「救出への道」が2/1放送開始した。北朝鮮関連の動静やニュース、また、北朝鮮当局や人民へ向けてのメッセージも伝えて行く。初回放送にはゲストで平野フミ子さんが拉致被害者増元るみ子さんへのメッセージも放送。放送日は毎週（不確定）、時間は5分程度。

■FAXプロジェクトの実施について

これまでも北朝鮮へのFAX送信は断続的に行われてきたが、このたびさらに組織的なFAX送信を行い、「しおかぜ」「バルーンプロジェクト」や連合などの行っているハガキ送付とともに北朝鮮内部への情報注入を目指す。

1、概要 調査会及び趣旨に賛同する団体（しおかぜネットワーク他）・個人が北朝鮮のFAX番号を共有し、そこに適時FAXにて拉致問題などの情報を流す。内容は自由。

2、時期 特に定めず

3、効果 FAXであるから確実にどこかの官庁・軍・事業所などに届く。受け取った側は当然治安機関に通告するので、その情報が広がると思われる。

4、費用 各自が負担。

5、電話番号 現在までFAXが通じたことのある番号は別紙の通り。これに各自が見つけたFAX番号を公開し（調査会で連絡を受け調査会ニュースなどで告知）、そこにまたFAXを送る。

以下はこれまで一度でも F A Xが届いたことがある平壤市の番号（現在は使えない番号のある可能性があります。850 は北朝鮮の国番号、2 は平壤の市外局番、381 は市内局番）

850-2-381-2100

850-2-381-4007

850-2-381-4010

850-2-381-4020

850-2-381-4021

850-2-381-4031

850-2-381-4033

850-2-381-4034

850-2-381-4035

850-2-381-4041

850-2-381-4042

850-2-381-4043

850-2-381-4047

850-2-381-4050

850-2-381-4051

850-2-381-4056

850-2-381-4060

850-2-381-4066

850-2-381-4067

850-2-381-4071

850-2-381-4074

850-2-381-4075

850-2-381-4080

850-2-381-4083

850-2-381-4096

850-2-381-4098

850-2-381-4150

850-2-381-4316

850-2-381-4377

850-2-381-4405

850-2-381-4407
850-2-381-4408
850-2-381-4411
850-2-381-4412
850-2-381-4413
850-2-381-4418
850-2-381-4422
850-2-381-4426
850-2-381-4431
850-2-381-4432
850-2-381-4435
850-2-381-4440
850-2-381-4440
850-2-381-4443
850-2-381-4444
850-2-381-4445
850-2-381-4446
850-2-381-4448
850-2-381-4449
850-2-381-4451
850-2-381-4454
850-2-381-4461
850-2-381-4462
850-2-381-4464
850-2-381-4467
850-2-381-4470
850-2-381-4474
850-2-381-4475
850-2-381-4476
850-2-381-4477
850-2-381-4479
850-2-381-4482
850-2-381-4488

850-2-381-4489
850-2-381-4489
850-2-381-4490
850-2-381-4493
850-2-381-4494
850-2-381-4495
850-2-381-4498
850-2-381-4502
850-2-381-4505
850-2-381-4506
850-2-381-4507
850-2-381-4508
850-2-381-4517
850-2-381-4525
850-2-381-4526
850-2-381-4527
850-2-381-4528
850-2-381-4531
850-2-381-4531
850-2-381-4533
850-2-381-4534
850-2-381-4536
850-2-381-4538
850-2-381-4542
850-2-381-4543
850-2-381-4546
850-2-381-4548
850-2-381-4549
850-2-381-4551
850-2-381-4558
850-2-381-4560
850-2-381-4563
850-2-381-4565

850-2-381-4567
850-2-381-4569
850-2-381-4574
850-2-381-4576
850-2-381-4581
850-2-381-4585
850-2-381-4592
850-2-381-4597
850-2-381-4603
850-2-381-4606
850-2-381-4607
850-2-381-4608
850-2-381-4611
850-2-381-4615
850-2-381-4617
850-2-381-4618
850-2-381-4619
850-2-381-4621
850-2-381-4621
850-2-381-4621
850-2-381-4622
850-2-381-4623
850-2-381-4624
850-2-381-4626
850-2-381-4627
850-2-381-4629
850-2-381-4632
850-2-381-4633
850-2-381-4637
850-2-381-4642
850-2-381-4644
850-2-381-4646
850-2-381-4647

850-2-381-4648
850-2-381-4651
850-2-381-4652
850-2-381-4652
850-2-381-4652
850-2-381-4657
850-2-381-4660
850-2-381-4663
850-2-381-4665
850-2-381-4668
850-2-381-4670
850-2-381-4672
850-2-381-4674
850-2-381-4676
850-2-381-4677
850-2-381-4679
850-2-381-4685
850-2-381-4687
850-2-381-4688
850-2-381-4691
850-2-381-4692
850-2-381-4695
850-2-381-4707
850-2-381-4709
850-2-381-4712
850-2-381-4715
850-2-381-4715
850-2-381-4718
850-2-381-4720
850-2-381-4722
850-2-381-4723
850-2-381-4726
850-2-381-4728

850-2-381-4732
850-2-381-4734
850-2-381-4737
850-2-381-4745
850-2-381-4747
850-2-381-4748
850-2-381-4750
850-2-381-4755
850-2-381-4757
850-2-381-4759
850-2-381-4760
850-2-381-4765
850-2-381-4770
850-2-381-4771
850-2-381-4772
850-2-381-4774
850-2-381-4777
850-2-381-4783
850-2-381-4785
850-2-381-4788
850-2-381-4793
850-2-381-4795
850-2-381-4799
850-2-381-5274
850-2-381-7607

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主催）

- ・なぜ北朝鮮は拉致をしたのか
- ・拉致はいつ行われたのか
- ・拉致被害者を救出しなければならない理由
- ・なぜ拉致問題を解決できないのか
- ・なぜ政府は特定失踪者を拉致認定しないのか（日本政府の対応の問題点）
- ・しおかぜプロジェクト（短波放送・バルーンプロジェクト・情報収集）について
- ・救出のために何ができるか

などをご説明する内容になっています。

価格は一般には 2000 円(送料・カンパ込み) ですが、しおかぜネットワーク参加団体と特定失踪者家族・認定者家族には 1000 円（送料込み）で販売します。

「お前が喋っているんだったら本人が来ればいいではないか」と言われそうですが、少人数の集まりやご家庭で使っていただくとか、小回りのきく使い方をしていただければ幸いです。ただし私の顔がずっと出ていますのでお食事の時間の前後は避けた方が無難です。お申し込みは調査会までお願いします。

また、本題とは関係ありませんが、運動の初めの頃、10 年以上前の映像の中で、大阪堺市の街頭活動中、横田滋・前家族会代表が差し出したビラを歩いてきた女性がはたき落とすシーンも出てきます。注意して見ていないと分かりませんが、当時はそういう人も少なくありませんでした。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2 月 22 日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

★2 月 28 日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主

あるビル・クリントン大統領は今にも平壤に乗り込もうという意欲満々でした。直後の大統領選挙で共和党が勝っても未練が残っていたことはまだ記憶に新しいところです。

クリントン国務長官のこのところの発言は、どう考えても核も含めて懸案を実質棚上げし、米朝国交正常化をしたいと思えてなりません。クリントン政権時代、ジュネーブ合意が有名無実化していたのに、北朝鮮の核開発情報を得ながら隠し続けてきたことは忘れるべきではないと思います。さらに、今のアメリカ政府の北朝鮮核問題についての関心は拡散であり保持ではありません。つまり、アメリカやイスラエルに敵対する国や勢力に核兵器や技術に移転しなければ、持っていてかまわないというのが現在の米国の姿勢です。

核でさえその調子なのに、外国人の拉致問題で本気になるか、そんなことは絶対にありえません。逆に、家族会の人たちに会うことも、おそらく米朝国交正常化のための障害除去のパフォーマンスに使おうとするのではないか、正直なところ非常に懸念を感じます。17日の会見が旦那の夢を実現するための拉致棚上げパフォーマンスに使われないことを切に希望する次第です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

どという姿勢でいて、あとは米国頼みというのでは、アメリカ政府も含めて外国で誰も本気にすることはないでしょう（そうでなくても誰も本気になるとは思えません）。

そもそも、国務長官の旦那の対北政策が間違っただけでも今日の状況を作っているのですし、前任者のテロ支援国指定解除や六者協議でのごまかしは当然非難されてしかるべきだと思います。家族会の皆さんは国務長官には「お願い」するのではなく、アメリカの対北政策の変更によって拉致も核も解決が遠ざかっていることを厳しく質していただきたいと思います。総理外相はじめ政府の皆さんは「これ以上拉致問題解決にマイナスになるようなことをやったら日本はアメリカに経済制裁する」とぐらい言ってもいいのではないのでしょうか。

そうしないと、単に国務長官に会ったという、派手で中身のない「成果」だけが残り、また政府も国民も他人任せの状態が続くように思えてならないのです。これは私たち自身の問題です。そのことは絶対に忘れてはなりません。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主催）

以上ですが、他の拉致被害者の事例からみても、北朝鮮での生活に精神的安定をもたらすためと、子どもなどを人質として逃走を防ぐという意味から、拉致被害者は半ば強制的に結婚させられています。したがって、松本京子さんについても、相手が誰かは不明であるものの、結婚させられていると推測することはできます。

調査会としては、今後ともさらに情報を集めてまいりたいと考えます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主催）

●名古屋市公会堂（JR中央線、地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：若宮会講塾（0561-74-1784 事前申し込み制です）

★3月6日（金）18:30 「ブルーリボンの祈り大決起集会」（浜松ブルーリボンの会）

●浜松市福祉交流センター（浜松駅下車 053-452-3131）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：浜松ブルーリボンの会（info@hamamatsu-blueribbon.org）

[調査会 NEWS 747](21.2.13)

■山田妙子さんの失踪時期について

札幌で失踪した特定失踪者の山田妙子さんはこれまで失踪時期が明確になっておらず、調査会の発表でも「昭和50～51年」となっていましたが、このたび地元警察の担当者のご努力で昭和50（1975）年8月25日であったことが確認されました。追ってホームページ等も修正しますが、とりあえずご報告します。

■署名提出

現在拉致議連を通じて署名の提出をすべく調整をいただいています。まだ日程は決まっていますが署名総数は7万筆近くになる予定です。詳細が決まりましたらまたニュースでお知らせします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防 - 日本国の今と未来を考える」（主催）

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願
いま
す)

MM
MM

[調査会 NEWS 745](21.2.6)

■米国の要請と日本政府の拒否？

荒木和博

1月17日にアメリカの北朝鮮人権問題特使 レフコウィッツ氏の任期満了に伴
う最終報告書 (<http://www.state.gov/g/senk/115268.htm>) に下記の一節があるそ
うです。

However, like South Korea, the government of Japan has refused to facilitate
independent medium wave radio transmissions from its territory to North Korea, despite
repeated requests by the U.S. government.

「アメリカ政府度重なる要請にも関わらず、韓国同様、日本政府も北朝鮮向け
中波ラジオ電波の自国からの送信を促進することを拒絶した」と訳すのでしょ

うか。全体を読んでいないので具体的な内容がよく分かりませんが、短波よりも中波ラジオの方が北で入手しやすく、合わせて北での受信音質が向上するからということで要請したようです。確かに中波にすると費用は桁違いに高くなりますが（現在民間の対北放送で中波を使っているのは自由北朝鮮放送だけ）、聞きやすくなることは事実です。

電波法の問題などもあるでしょうし、日本政府が断るなら断るでいいのですが（あるいは「朝鮮半島の人権問題は日本が片付けるからアメリカは黙ってなさい」とか）、いずれにしてもこの経緯についてはレフコウィツ氏の文書自体もちょっと分かりにくく、米国政府が具体的に何を日本政府に求めたのか分かりませんが、いずれにしても説明されてしかるべきだと思います。何方所か聞いてみているのですが、今のところ政府のどこがうけてどう判断し、どう答えたのかは分かっていません。ご存じの方はお知らせいただけると幸いです。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月9日（月）13:30 「拉致問題講演会」（徳島県主催）

●徳島県郷土文化会館（徳島駅徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：徳島県総務課（088-621-2027）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継 地方在住の方等でご覧になれない方はインターネットでの生中継を行います（18:30～19:30頃まで）のでそちらをご覧ください。

■昭和 63 年の国会質疑

荒木和博

昭和 63（1988）年 1 月 28 日の衆議院本会議における塚本三郎・民社党委員長の代表質問です。国会の議事録を調べていたら出てきました。拉致問題について代表質問で質したのはこれが初めてだと思いますが、竹下総理の答弁はその部分を完全に無視しています。

同じ民社党出身者として身内びいきに見られるかと思いますが、政府の具体的な救出への動きという意味では 21 年前からほとんど変わっていないのではないのでしょうか。拉致の後に続いている自衛隊の運用に関わる部分も同様です。そして、何の対処もできないままに拉致はその後も続きました。それどころかこの 2 年後には金丸・田辺氏らが北朝鮮を訪れ、悪名高き「三党共同宣言」を發表します。このあたりの動きはもう一度検証されてしかるべきだと思います。

ということで、ご参考まで関連部分以降を掲載しておきます。

（塚本三郎議員の質問一関連部分のみ一）

次に、大韓航空機爆破事件について。

去る一月十五日に行われた蜂谷真由美こと金賢姫の記者会見と韓国捜査当局の発表は、我々に大きな衝撃を与えました。北朝鮮の工作員であった金賢姫は、自殺した蜂谷真一こと金勝一とともに、金正日書記の指令によって大韓航空機に爆弾を仕掛け、これを爆破したというのであります。しかもその目的は、大

韓航空機を爆破することによってソウル・オリンピックへの各国の参加を妨害することにあつたと言われます。

今回の事件は、決して韓国だけの問題ではなく、我が国にも大きな関係を持っております。彼らが日本人を装い、日本の旅券を偽造したというだけでなく、特に重大なのは、金賢姫に日本の習慣を教えたのは、日本から拉致された女性だったとされた点であります。昭和五十三年の夏、数組の若い男女が海岸近くで突然行方不明となり、現在に至るまで何の手がかりもないという事件が発生しております。もしこれが北朝鮮のしわざであり、その中の一人が金賢姫の教育に充てられたとすれば事は重大であります。それは我が国に対する重大な主権侵害であり、人道的にも断じて許されない行為だからであります。政府は、全力を挙げてこの事件を捜査し、事の真相を国民の前に明らかにすべきであります。先般、外務省の北東アジア課長が訪韓された際、この点についてどのような事情聴取がなされたのか、また、それを踏まえ今後政府としてはどのように捜査を進めていくのか、総理の答弁を求めます。

国際化時代に年間数百万の日本人が海外に旅する時代であれば、今回の事件は決して朝鮮半島における南北問題として片づけるべき性質のものではないと思います。

そこで、六十年の春、宮崎沖領海で発見された国籍不明の高速艇は、海上保安庁の追跡を振り切って逃走しました。海上自衛隊はその行動を終始監視していたが、海上警備行動は自衛隊法第八十二条により内閣総理大臣の承認を得ることがその都度必要で、このような突発的な事件に現状では対処できません。そのとき海上自衛隊に直接対処が認められていたら、まさか逃がすことはなかったと当事者が残念がっていることを総理は御存じでしょうか。また、五十五年のソ連原子力潜水艦の事故の際も、沖縄沖の領海を通過されても海上自衛隊はただ眺めているにすぎない。また、十五万人もいる陸上自衛隊と同様で、防衛出動または治安出動以外に何ら警備の任務を与えられてはおりません。例えば、昭和五十一年のミグ25が函館飛来のときには警察と米軍がこれに当たり、陸上自衛隊は訓練出動の名目で周辺の警備に当たったのみではありませんか。これに比べて、過日のソ連機の沖縄領空侵犯に対しては、自衛隊法第八十四条

により対処が認められているから、直ちに航空自衛隊がスクランブルをかけ、ついにソ連をして正式に陳謝をせしめ、主権を守ることができました。だがそれとて、何ゆえ自衛隊法によって沖縄に強制着陸させなかったのか、疑問が残ります。

最近、逮捕された連合赤軍の指導者丸岡を奪回するために、さまざまのテロやハイジャックがうわさされており、加えて、ソウル・オリンピック開催をめぐる南北間の緊張激化など、国際的テロが万一にも発生したとき、総理は、従来どおりに警察力のみで対応できると考えておられるのでございましょうか。総理は施政方針演説で自衛力の整備に言及していますが、平時における緊急事態に対処する自衛隊の運用についてどう考えられますか。

昨年の臨時国会において私が質問いたしましたペルシャ湾の安全航行について、また、メキシコ大地震に対する国際救援活動について、ただただ自衛隊は使わないとの態度に終始しておられるのは、そんな平時でも国外に出せば、かつての関東車と同様にシビリアンコントロールがきかないとでも思っておられるのか、自衛隊の最高司令官である総理が部下を信用しておられないのではありませんか。四兆円近い防衛費をつぎ込んで、なお領土保全や国民の生命財産などに対して身動きできないほどに法制上自衛隊の手足を縛っておられる本当の意味はどこにあるのか、改めてお伺いして、私の質問を終わります。

(竹下総理の答弁一関連部分のみ)

それから、金賢姫との面会の内容でございしますが、外務省の担当課長が金賢姫と面会した際に、偽造旅券に関する事、日本人化教育に携わったとされる日本人女性に関する事など、同人と日本とのかかわり合いを中心に事情聴取を行ったが、その内容は今後の調査との関係もあって現段階で明らかにすることは差し控えさせてたまわりたい、このように思います。いずれにせよ我が国としては、韓国政府とも協力して、真相究明のため今後とも最大限の努力を行ってまいります。

大韓航空機事件の性格につきましては、政府として、今般の事件は世界の平

和と秩序に対する許しがたい行為であって、国際社会により強く糾弾、排斥されなければならない、かかる事件の再発は断固阻止されなければならない。特に今般の事件において、我が国の偽造旅券が行使され、あたかも日本人が関与したかのごとき擬装がなされたことは、まことに遺憾なことであると私も思います。かかる観点から政府としては、今般の事件に対する毅然たる姿勢を示すために、人的交流の制限等を骨子とする対北朝鮮措置をとることにした次第でございます。

さて、平時の自衛隊の警備行動等々に関する御意見を交えての御質問でございました。

陸上及び海上における治安の維持につきましては、現在、それぞれ警察、海上保安庁が第一次的な責任を持って対処し、これらの機関が対処できない場合に自衛隊が治安出動、海上警備行動によって対処することと原則的にはなっております。その中には若干時間がかかり過ぎるやに見えるところもあるかもしれませんが。自衛隊の活動については、あくまで慎重の上にも慎重に行動することによって国民の期待と信頼にこたえていくべきであるということに結論づけおるところでございます。

ソ連軍機による領空侵犯の問題でございますが、先般のソ連軍機による沖縄領空侵犯に際して、自衛隊は領空侵犯を未然に阻止すべく、また領空侵犯後には強制着陸させるべく、できる限りのことを行ったというふうに私は承知をしております。

さて、自衛隊の海外派遣の問題でございます。

ペルシャ湾における船舶の自由安全航行確保について、非軍事的手段による貢献を行うとの基本的考え方に基づいて、去年の十月七日に政府・与党首脳会議の決定に従って、政府としてはその貢献策の早急な実施に現在努めておるところでございます。ペルシャ湾は、イラン、イラク間で戦闘が行われておる地域でありまして、かかる戦闘地域へ自衛艦を派遣することについては、慎重に判断する必要があります。昨年成立した国際緊急援助隊の派遣に関する法律によりますならば、自衛隊員は、国際緊急援助活動を行うことになっておりませ

んが、これは、国際緊急援助隊の派遣については、これまでの経験に照らしても、自衛隊の参加がなくても十分対応が可能であると判断したということでございます。したがって、おっしゃいましたように、政府として自衛隊のコントロールに自信がないから自衛隊を派遣しないというようなことでは全くございません。大変に信頼をしておるところでございます。

以上でお答えを終わります。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★2月9日（月）13:30 「拉致問題講演会」（徳島県主催）

●徳島県郷土文化会館（徳島駅徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：徳島県総務課（088-621-2027）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090(9816)2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★2月22日（日）13:00 「人権フェスティバル」（小諸市人権センター主催）

●小諸市人権センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：小諸市人権センター（0267-23-5521）

★2月28日（土）18:30 「拉致問題と国防- 日本国の今と未来を考える」（主催）

●名古屋市公会堂（JR中央線、地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：若宮会講塾（0561-74-1784 事前申し込み制です）

